

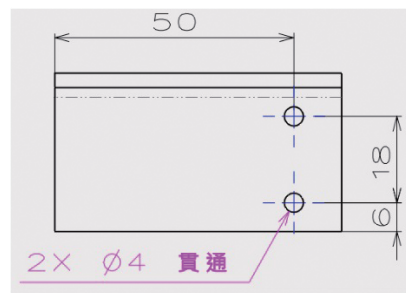
27. グラフィックウィンドウで背景部分を右クリック[2D図面]を選択します。



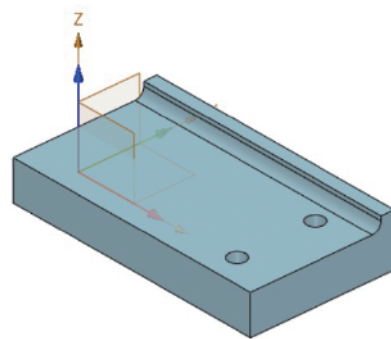
29. [寸法]-[穴属性呼出し]をクリックします。



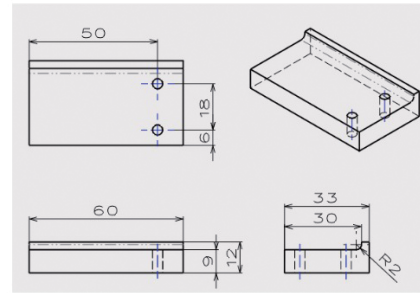
31. 作成した寸法をドラッグで位置変更します。



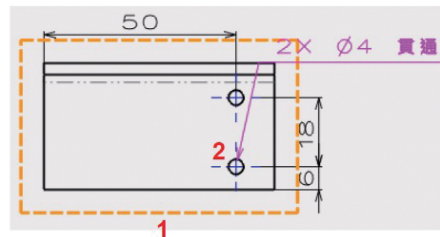
33. 干渉が発生していたベース部品を修正します。ベース部品を開きます。



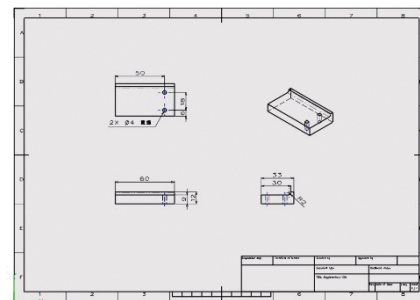
28. [A3\_H(JIS)]テンプレートを使用して図面を作成します。[ビューレイアウト]と[寸法]を使用し部品図を作成します。



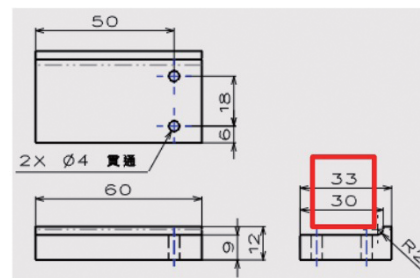
30. 上面ビューをクリック、下側の穴をクリックします。マネージャのOKをクリックします。



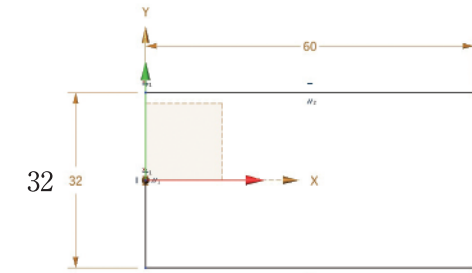
32. ビューの位置を調整し図面を完成させます。保存します。自動で図面化するアセンブリと同名の「4-3\_ベース.Z3DRW」となっています。



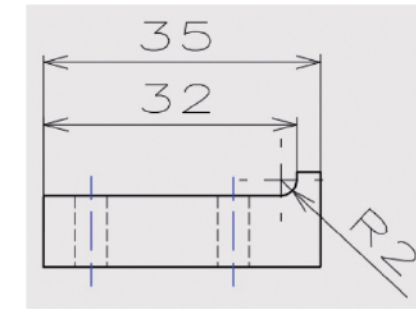
34. ベース部品の寸法を変更します。図示の2が所以外は変更はありません。



35. パートモデリング、スケッチモードで30→32へ変更しました。



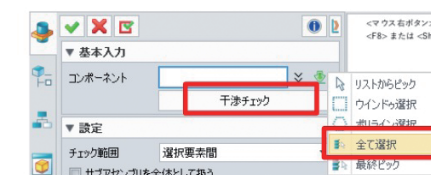
37. 右側面図の寸法が修正されていることを確認します。



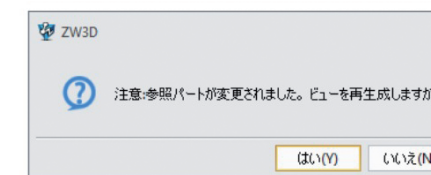
39. グラフィックウィンドウで背景部分を右クリック[再生成]を選択します。



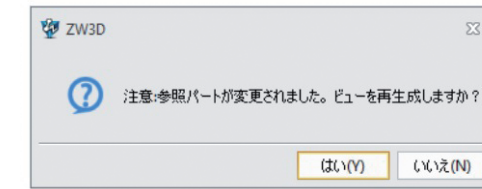
41. コンポーネント右側の矢印をクリック、[全て選択]をクリックします。[干渉チェック]をクリックします。



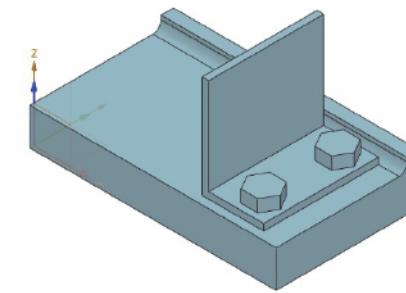
43. アセンブリの図面を開きます。ダイアログが開きますのでOKをクリックします。



36. ベース図面を開きます。ダイアログが開きますのでOKをクリックします。



38. アセンブリを開きます。



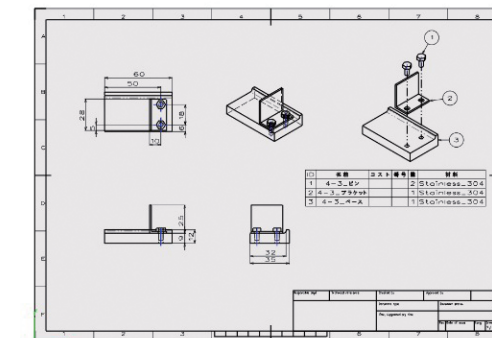
40. [アセンブリ]-[干渉チェック]をクリックします。



42. 結果をみると干渉部分がなくなったことが確認出来ます。



44. 右側面図の寸法が修正されていることを確認します。



※部品を修正するとアセンブリ、図面など参照されているファイルが更新され手間を少なく設計変更が可能です。